

開催日時：令和6年5月1日（水） 15時00分から17時00分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、清水総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、林福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、福岡会計管理者、筒井議会事務局長、秦野教育次長、佐々木財政課長、小室秘書課長、澤柳企画課長

## 会議内容

### 1 理事者あいさつ

#### <市長>

- ・新年度に入って1カ月が経ち、新規採用の職員や異動があった職員も疲れが出る時期である。部課長には職員の様子に気を配ってほしい。
- ・現場に行く機会も多いが、やはり現場での対話は必要だと改めて感じる。部課長も現場へ赴き市民の皆さんの話を聴く機会を持ってほしい。また、内部事務部局では庁内が現場でもあり、職員の声の聴くことを引き続き大切にしてほしい。

#### <副市長>

- ・事務・事業の見直しについては、本日、行革本部会議での協議の状況を報告し、協議いただき、5月の行革本部会議以降で詰めていく。
- ・第2回飯田市議会定例会については、昨年度と日程が変わっており、大きな契約案件等の提案もある。丁寧な説明ができるように準備をしておくこと。
- ・本日、定額減税の関係で総務部長に兼務発令がされた。本格的な動きに向けて協議をしながら体制を作っていくので、庁内全体で取り組めるように協力をお願いする。

#### <教育長>

- ・第38回やまびこマーチは、目標としていた前年度の参加者の1.5倍の2,000人を超える参加があり、盛大に実施できた。参加、協力いただいた職員の皆さんに感謝申し上げる。
- ・職員が前もってしっかり準備をしたが、実際にコースを歩いてみるとわかりにくく、看板が必要だと感じる場所もあり、現場の声だけでなく現場の目も大事だと実感した。

### 2 協議事項

(1) 飯田市行財政改革大綱の策定とすべての事務・事業の見直しについて

#### ◇趣旨

- ・飯田市行財政改革大綱・実行計画の策定スケジュールについて確認する。

(財政課長)

- ・飯田市行財政改革大綱は行革本部会議で5月に作業手順の確認をし、6月までに大綱の方向性についてまとめたうえで、7月ごろ行革推進委員会に諮問を行い9月までに答申を受ける。
- ・答申を受けて行革本部会議を中心に大綱案を成文化し、12月から1月にかけて大綱案をパブリックコメントに付すと同時に12月議会で報告する。
- ・来年の2月までに大綱を決定していくこととし、必要に応じて部長会議等に付していく。
- ・実行計画は、9月の大綱の素案の作成に合わせて検討し、目標や取組の内容が予算編成と連動するように12月から2月にかけて行革本部会議や庁内での意見を受け策定する。
- ・3月議会の全員協議会と行革推進委員会にて大綱及び実行計画を報告する流れを想定している。

◇意見

(市長)

- ・大綱だけが諮問答申の対象か。実行計画は行革推進委員会に諮らないのか。

(財政課長)

- ・実行計画も推進委員会にかけるが、諮問答申は大綱のみ。

(市長)

- ・諮問の際には基金目標や起債残高目標の数値も示すのか。

(財政課長)

- ・諮問答申時には数値は示さず方向性のみ諮り、答申を受けて成文化していく中で数値を記していく。

(副市長)

- ・パブリックコメントの前に推進委員会にかけた方が良い。

(財政課長)

- ・日程を検討する。

(企画部長)

- ・推進委員会の日程等は検討してもらうこととして、スケジュールについては確認されたものとする。

(副市長)

- ・すべての事務・事業の見直しの取組については、5月15日の次回行革本部会議でより具体的な取組内容、職員への周知の方法を協議したいので、それぞれ考えて会議に臨むこと。

◇協議結果

- ・行革推進本部会議の日程について検討すること。
- ・飯田市行財政改革大綱・実行計画の策定スケジュールについては提案のとおり了承する。

### 3 報告事項

#### (1) 令和6年飯田市議会第2回定例会の付議案件について

◇趣旨

- ・令和6年飯田市議会第2回定例会の付議案件について報告する。

◇意見

(議会議務局長)

- ・報告案件の中に特殊な内容の案件がある。相手方があることではあるが、説明の際には可能な限りわかりやすい説明となるよう準備をお願いしたい。

(企画部長)

- ・今回の議会の開会日は議案の説明までで、中日の一般質問の後に本会議を開いて議案に対する質疑となる。これまでと日程が変わっている点に注意すること。

#### (2) 令和5年度飯田市一般会計補正予算（第11号・専決）について

◇趣旨

- ・令和5年度飯田市一般会計補正予算（第11号・専決）について報告する。

#### (3) 令和5年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書について

◇趣旨

- ・令和5年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書について報告する。

(4) 令和6年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案について

◇趣旨

- ・令和6年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案について報告する。

(5) 市民の意識に関する基礎世論調査の集計概要について

◇趣旨

- ・市民の意識に関する基礎世論調査の集計概要について報告する。

◇意見

(市民協働環境部長)

- ・問16の「地元産品の購入」も問17のエシカル消費に含まれるため、次回の調査に向けて整理が必要である。

(企画部長)

- ・本案件は開会日全員協議会での報告事項である。質疑について、調査全般に係ることは企画部で対応するが、細かい内容については担当部局にて対応をお願いする。

(6) 令和5年度ふるさと飯田応援隊募集事業実績報告について

◇趣旨

- ・令和5年度ふるさと飯田応援隊募集事業実績報告について報告する。

(7) 令和6年度市長と語るまちづくり懇談会の実施について

◇趣旨

- ・令和6年度市長と語るまちづくり懇談会の実施について報告する。

◇意見

(市長)

- ・令和5年度は、全地区で水道料金値上げの背景について話をしたが、今年度は防災の話をしように考えている。危機管理部には準備をお願いする。

(8) 令和6年度の災害対応力強化の取組について

◇趣旨

- ・令和6年度の災害対応力強化の取組について報告する。

◇意見

(市長)

- ・資料9-2「各災害対応班 課題解決に向けた取組報告」はどう取り扱うものなのか。

(危機管理課長)

- ・昨年度の訓練における各班からの反省等をまとめたもので、それを共有するもの。9月の訓練に向けて計画作成の参考としていただきたい。

(危機管理課長補佐)

- ・各班の実施内容、反省を取りまとめているものであり、班をまたいだ連携を視野に入れ、他の班の動きを把握していただく意味で、全体に共有する資料として示している。

(市長)

- ・昨年度の訓練を振り返り、検証して、次の訓練に向け取組の充実を図っていくものであり、マニュアルの見直しや実働部分でやるべきことを明確にしていく必要がある。部課長はそのつもりで準備をすること。
- ・能登半島の状況を見ると、受援及びボランティアの受け入れに課題があったと感じているが、受援の体制

やボランティアの受け入れの訓練は、どこがやっているのか。

(危機管理課長補佐)

- ・ボランティアに関しては、飯田市社会福祉協議会が別のタイミングで訓練をする。

(市長)

- ・市民の皆さんに意識的に伝えていく必要があるので、訓練をしている様子も伝えていくこと。

(危機管理部長)

- ・9月の訓練の組立ての検討の中で、職員防災マニュアルに記載されている事項ができていないか検証等をお願いしたい。

(9) 飯田市立小中学校の今後のあり方に関する方針～第1次～（素案）の策定について

◇趣旨

- ・飯田市立小中学校の今後のあり方に関する方針～第1次～（素案）の策定について報告する。

(10) 5月20日飯田市議会全員協議会報告事項について

◇趣旨

- ・5月20日飯田市議会全員協議会報告事項について報告する。

(11) 第2回定例会各委員会協議会報告事項について

◇趣旨

- ・第2回定例会各委員会協議会報告事項について報告する。

#### 4 その他、連絡事項

(1) 飯田市役所本庁舎停電点検の実施について

(2) 信州大学の水循環・水素関連研究に関するシンポジウムの開催について

(3) いいだ未来デザイン2028後期計画の策定について

(4) その他、連絡事項

(議会事務局長)

- ・飯田市議会第2回定例会はノーネクタイでお願いします。
- ・議会日程を見直したことで期間が長くなっているが、第2回定例会及び第3回定例会の様子を見ながら、来年の日程については議会で検討する。
- ・一般質問通告から一般質問まで期間が空くことから、質問内容が変わってくるのではないかと心配する声があるが、そうしたことがないよう、事務局としても最大限の努力をする。
- ・開会日は議案の説明のみとなる。委員会に付託する議案の質疑は、後日取りまとめ、一般質問終了後に議案に対する質疑、追加議案となるため、一般質問の2日目は午前9時から開始とさせていただきます。

#### 5 閉会